

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (料飲概論)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位 (60単位時間)	必須	山下 恵理

## 授業の概要

レストランサービス技能検定3級取得を目標とし、過去問題を元に傾向と対策を練る。実技に関して過去の検定概要を踏まえた実技指導、併せて印象の良いサービスを教え合格に導きたい。現場でも役立つホスピタリティスピリッツ、お客様から喜ばれる心配りの修得を目指す。

## 授業終了時の到達目標

- ・プロの指導を受けることにより、知識や技術だけではなくサービスとは何かを感じ取れるようになる。
- ・目標を掲げ、やりたい事を理解し、自分に足りないかを考えホスピタリティ精神溢れる人としてのマインドを醸成する

実務経験有無	実務経験内容
有	株式会社ひらまつジャルダンポール・ボキューズにて10年間勤務。現在ハイディワイナリーに勤務

## 時間外に必要な学修

授業前後の予習・復習を必ず行い、効率的な科目内容の学修に努めること。

回	テーマ	学修内容
1	授業導入	料飲概論を学ぶにあたって
2-3	第1章 食材・飲料の基礎知識	①食品 ②西洋料理に使用される主な食材
4	第1章 食材・飲料の基礎知識	③一般的な西洋料理調理法
5-6	第3章 食材・飲料の基礎知識	④飲料の種類および特徴 ⑤食前酒
7	第4章 食材・飲料の基礎知識	⑥メニュー 西洋料理の食事用具・備品
8	確認小テスト	4章までの確認小テスト
9	小テスト 解説	小テストの回答・解説
10-11	什器備品の知識・レストランのナプキン	食器の取扱いと管理・テーブル・クロスの設定
12-13	第3章 宴会とレストランサービス	①宴会 ②レストラン
14-15	テーブルセッティング・テーブルマナー	テーブルセッティング (朝食)(昼食)(ディナー)
16-17	第3章 宴会とレストランサービス	③食事のサービスマナー ④食文化 (第4章)
18-19	第4章 宴会とレストランサービス	③食事のサービスマナー ④食文化 (第4章)
20	確認小テスト	確認小テスト
21	小テスト 解説	小テストの回答・解説
22	第5章 施設管理	設備、防火管理、排水設備、防災、設備維持を学修

23	第6章 苦情対応と遺失物の取扱い	苦情の実情、苦情対応の基本、原因と対応、 招かざる客(UG: Undesiable Guest) とその対応		
24	第7章 食品衛生および公衆衛生	食品衛生・食中毒・寄生虫・腐敗及び変敗・保存・洗浄・殺菌・消毒、 施設と設備の衛生管理、感染症の予防		
25	第8章 安全衛生	労働災害、危険有害性、労働安全衛生、労働災害の防止		
26-27	テーブルセッティング・テーブルマナー	テーブルセッティング (朝食)(昼食)(ディナー)		
28-29	第3章 宴会とレストランサービス	③食事のサービスマナー ④食文化(第4章)		
30	第8章 安全衛生	労働災害、危険有害性、労働安全衛生、労働災害の防止		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
①「料理接客サービス技法」		確認・小テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (料飲概論)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位 (30単位時間)	必須	山下 恵理

## 授業の概要

レストランサービス技能検定3級取得を目標とし、過去問題を元に傾向と対策を練る。実技に関して過去の検定概要を踏まえた実技指導、併せて印象の良いサービスを教え合格に導きたい。現場でも役立つホスピタリティスピリッツ、お客様から喜ばれる心配りの修得を目指す。

## 授業終了時の到達目標

・プロの指導を受けることにより、知識や技術だけではなく入社後ホテルエになる為には何が必要かを感じ取れるようになる。  
・目標を掲げ、自分のやりたい事を理解し、何が足りないかを考えホスピタリティ精神溢れる人としてのマインドを醸成する

実務経験有無	実務経験内容
有	株式会社ひらまつジャルダンポール・ボキューズにて10年間勤務。現在ハイディワイナリーに勤務

## 時間外に必要な学修

授業前後の予習・復習を必ず行い、効率的な科目内容の学修に努めること。

回	テーマ	学修内容
1-3	実技試験対策	実技指導
4-7	ワイナリー見学	ブドウの収穫体験を通してワインに対する知識を深める ワイナリーの見学、製造工程を学ぶ
8	プロの接客サービス① ※パワーポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン前の最終チェック</li> <li>・テーブルは綺麗に拭こう</li> <li>・寒い日にはひざ掛けを準備</li> <li>・左利きには左利きセッティング</li> <li>・お年寄りや体の不自由な方には手を添えて</li> </ul>
9	プロの接客サービス② ※パワーポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱い食器にはお出しする時に注意喚起</li> <li>・熱いものは熱いうちに、冷たいものは冷たいうちに</li> <li>・食べにくい料理は食べやすく(サイズ・硬さ・骨)</li> <li>・お皿を下げる時は必ず声を掛けて</li> <li>・食べられる量には個人差がある</li> </ul>
10	プロの接客サービス③ ※パワーポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手食材を必ず聞く</li> <li>・アレルギー対応は当たり前</li> <li>・ハラール対応などの知識も必要</li> <li>・食べ残しの理由は嫌味なく聞こう</li> </ul>
11	プロの接客サービス④ ※パワーポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席が気に入らない言われた時</li> <li>・料理の提供が遅いというクレーム</li> <li>・オーダーミスのクレーム</li> <li>・クレームには好感が持てる謝り方</li> <li>・異物が入ってないかチェック</li> </ul>
12	模擬テスト	本番の試験に準ずる
13	採点と振り返って	出来ていない箇所を再チェック
14	接客・接遇の基本①	良い接客とは?、接客の心得、第一印象の重要性
15	接客・接遇の基本②	「期待を超える対応」、「不満と苦情」について

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
①「料理接遇サービス技法」	確認・小テスト 期末試験	30.0% 70.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (ホテル・ブライダル応用)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	澤田 浩明

## 授業の概要

1年次で習得した基礎知識を土台とし、より高度で複雑な現場対応力を養います。宿泊・料飲・婚礼の各セクションにおける「イレギュラー対応」や「VIP待遇」に焦点を当て、ロールプレイングを中心に授業を展開

## 授業終了時の到達目標

高度な接客技術: 相手の期待を超える「パーソナライズされたサービス」を理解し、実演できる。状況判断力: クレームや予期せぬトラブルに対し、マニュアルを超えた適切な初期対応と代替案提示ができる。マナーや禁忌事項を踏まえた適切な接客ができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	ホテル・ゲストハウスにてウェディングプランナー、支配人を務める。その後ブライダルエージェントにてプロデュースを行う

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	オリエンテーション	年生の学習目標設定、業界の最新動向(2026年のトレンド)
2	インプレッション管理	究極の第一印象。選ばれる人材としての立ち居振る舞い・表情筋
3	ホテル 料飲応用	高級レストランにおけるデクパージュ(切り分け)や高度なワインサービス
4	ホテル 宿泊応用	VIP対応、エグゼクティブラウンジでのコンシェルジュ業務の実践
5	ブライダル 企業立案	顧客の潜在ニーズを引き出すヒアリング技法とコンセプトメイキ
6	ブライダル 演出応用	最新の音響・照明・映像演出と、パーソナライズされた進行作成
7	クレーム対応(基礎)	初期対応の重要性と、心理学に基づいた「聴く」技術
8	クレーム対応(応用)	困難な状況下での代替案提示と、二次クレームの防止策
9	特別講義	現役のホテル支配人による特別講義
10	特別講義	現役のウェディングプランナーによる特別講義
11-13	フェア企画	ホテル・ブライダルスタッフとしてフェアを企画・プレゼン
14	フェア企画	企画プレゼン発表
15	前期総括	前期の振り返りと後期に向けて課題・目標設定

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
KBGプリント	期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	授業の前後の予習・復習は必ず行い、効率的な科目内容の学修に努めること。



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (ホテル・ブライダル応用)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	澤田 浩明

## 授業の概要

「社会人準備期間」として、現場のオペレーションだけでなく、経営的視点（マネジメント）を学びます。ホテルの収益構造（レベニューマネジメント）や、ブライダルの成約戦略、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用など、業界の最新トレンドを網羅します。後半では、これまでの学びの集大成として、学生主導のイベント企画・運営を行い、チームで成果を出す難しさと喜びを体感させる

## 授業終了時の到達目標

計数管理の理解： 客室稼働率やADR等の指標を理解し、利益を最大化するための基本的な考え方を説明できる。トレンド分析力： DXやSDGsなど、業界が直面している課題と最新技術について、自らの意見を述べる事ができる。リスク管理能力： 現場で起こりうる事故や不祥事を予見し、未然に防ぐためのチェック能力を身につける。チームマネジメント： 組織の一員として役割を全うし、他者と協力して一つのイベントやプロジェクトを完遂できる。

## 実務経験有無 実務経験内容

有 ホテル・ゲストハウスにてウェディングプランナー、支配人を務める。その後ブライダルエージェントにてプロデュースを行う

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	後期導入	学習内容の詳細
2	ホテル会計・計数管理	プロとしての自覚（内定者から社会人へ）と、後期の学習計画
3	レベニューマネジメント	稼働率、客単価（ADR）、RevPARの計算と利益構造の理解
4	ブライダル成約率の科学	需要予測に基づいた価格戦略の基本（ダイナミックプライシング）
5	マーケティングとSNS	新規接客から成約に至るまでの心理プロセスと営業スキルの高度化
6	ホテル・ブライダルDX	InstagramやTikTokを活用した集客戦略とブランド構築
7	サステナビリティ（SDGs）	予約システム、自動チェックイン、AIチャットボットの活用事例
8	人材育成とチームビルディング	フードロス削減、プラスチックフリー、地域共生型の施設運営
9	リスクマネジメント	後輩指導の基本、リーダーシップとメンバーシップのあり方
10	イベントプロデュースⅠ	防災・防犯対策、アレルギー事故防止、情報漏洩リスクへの備え
11	イベントプロデュースⅡ	学生によるオリジナルイベント（模擬挙式やパーティー）の企画
12	イベントプロデュースⅢ	予算管理、手配業務、当日のタイムスケジュール作成

13	ケーススタディ：トラブル解決	設営・リハーサル・本番実施（実技評価）
14	業界の未来を考える	過去の事故事例を分析し、再発防止策をグループで検討
15	最終総括	10年後のホテル・ブライダル業界の姿を予測・プレゼン

教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
KBGプリント		期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	授業の前後の予習・ 復習は必ず行い、効 率的な科目内容の学 修に努めること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (ホテル・ブライダル検定)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	岩瀬成実

## 授業の概要

日本のウェディングの歴史から伝統・慣習、そして現場での様々な実務の内容やその実践方法、さらに現在のブライダル事情まで網羅します。結婚を決意したカップルが結婚式を迎えるまでの流れに沿って、どのタイミングでどんな業務を行うのか、その業務に必要な知識は何かをわかりやすく構築する。□

## 授業終了時の到達目標

日本のウェディングの歴史から伝統・慣習、そして現場での様々な実務の内容やその実践方法、さらに現在のブライダル事情まで網羅します。結婚を決意したカップルが結婚式を迎えるまでの流れに沿って、どのタイミングでどんな業務を行うのか、その業務に必要な知識は何かをわかりやすく構築する。□

実務経験有無	実務経験内容
有	ブライダル運営会社にてプランナーとして勤務。結婚式のプランニングから運営までを手掛ける。

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	ブライダル業界の基礎	ブライダル業界の役割、ホテルブライダルの特徴と結婚式の社会的意義を理解する
2	結婚式の種類とスタイル	挙式・披露宴・パーティ形式など、結婚式の基本的な種類とスタイルを理解する。
3	挙式の種類と流れ	神前式・教会式・人前式など、挙式の種類と基本的な進行を学習する。
4	披露宴の基本構成	披露宴の流れ、主なプログラム内容と役割を理解する。
5	婚礼に関わる職種の理解	ウェディングプランナー・サービススタッフ・調理・音響・司会など各職種の役割を学ぶ。
6	ホテルブライダルにおける接客マナー	ホテル業界に求められる基本的な立ち居振る舞い。言葉遣い、身だしなみを理解する。
7	新規接客の基礎	新規来館対応の流れ、ヒアリングの基本、信頼関係の築き方を学習する。
8	婚礼打ち合わせの全体像	婚礼打ち合わせの回数、内容、進行スケジュールの基礎を理解する。
9	婚礼に関する基礎用語	ブライダル現場で使用される基本用語・専門用語を学習する。
10	見積書の基礎知識	婚礼見積書の構成、項目の意味、基本的な考え方を理解する。
11	トラブル・注意事項の基礎	婚礼現場で起こりやすいトラブル事例と、事前に注意すべきポイントを学ぶ。
12	ホテルブライダル検定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。
13	ホテルブライダル検定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。
14	ホテルブライダル検定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。
15	ホテルブライダル検定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ブライダルコーディネーターテキスト ス タンダード 発行公益社団法人日本ブライ ダル文化振興会 (BIA)	期末試験	100.0%	授業の前後の予 習・復習は必ず行 い、効率的な科目 内容の学修に努め ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (ホテル・ブライダル検定)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	岩瀬成実

## 授業の概要

日本のウェディングの歴史から伝統・慣習、そして現場での様々な実務の内容やその実践方法、さらに現在のブライダル事情まで網羅します。結婚を決意したカップルが結婚式を迎えるまでの流れに沿って、どのタイミングでどんな業務を行うのか、その業務に必要な知識は何かをわかりやすく構築する。□

## 授業終了時の到達目標

日本のウェディングの歴史から伝統・慣習、そして現場での様々な実務の内容やその実践方法、さらに現在のブライダル事情まで網羅します。結婚を決意したカップルが結婚式を迎えるまでの流れに沿って、どのタイミングでどんな業務を行うのか、その業務に必要な知識は何かをわかりやすく構築する。□

実務経験有無	実務経験内容
有	ブライダル運営会社にてプランナーとして勤務。結婚式のプランニングから運営までを手掛ける。

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	婚礼衣装	新郎新婦の和装・洋装の種類・小物を理解し慣習を学修する。
2	ウェディングプランナーの業務の流れ	婚礼の準備・進行をサポートする大切な業務となる為、どんな流れで、何を行うのかをしっかりと学修する。
3	新規接客業務	新規接客へと繋げる「資料請求」や「来館予約」の対応と接客後の成約手続きも重要な業務である事を把握し学修する。
4	婚礼打合せ業務 招待状	打合せの回数や内容を理解し、一般的な流れを修得する。招待状の用途や書式を学修する。
5	婚礼打合せ業務 披露宴の進行と演出	披露宴での進行を学修する。様々な演出を含めた進行を理解する。
6	婚礼打合せ業務 席次表	打合せの回数や内容を理解し、一般的な流れを修得する。席次表の用途や書式を学修する。
7	婚礼打合せ業務*重要な書類	打合せで確定した内容を手配する業務です。「発注書」や「見積書」等を的確に行うことを理解し書類作成方法を学修する。
8	礼打合せ業務重要な書類	婚礼準備の最終段階で、当日をつつがなく進めるための大切な打合せとなることを学修する。
9	見積作成	見積書の作成。お客様に合わせた見積内容の作成。
10	見積作成	見積書の作成。お客様に合わせた見積内容の作成。
11	見積作成	見積書の作成。お客様に合わせた見積内容の作成。
12	認定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかりと修得し試験に挑む。
13	認定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかりと修得し試験に挑む。

14	認定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。		
15	認定試験対策	想定問題を解き、苦手内容をしっかり修得し試験に挑む。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード 発行公益社団法人日本ブライダル文化振興会 (BIA)		期末試験	100.0%	授業の前後の予習・復習は必ず行い、効率的な科目内容の学修に努めること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ビジネス概論Ⅱ (プロトコール応用)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位 (30単位時間)	必須	澤 直美

## 授業の概要

プロトコールは、国際化が進んだ今日では民間においても必要な心得です。いかなるシーンでも相手を尊重し思いやる気持ちを表現するために、諸外国のマナーや習慣を学び、異文化コミュニケーションの重要性を理解します。また日本のしきたりや、伝統文化、礼法について学び、国際人としグローバルな価値観と、臨機応変な対応ができる判断力を身に付けます。

## 授業終了時の到達目標

・プロトコールを学び国際人としての自覚を持ち、自信をもって、より良い交流ができるようになる。  
 ・社会で求められる人材になるために必要なマナーを学ぶことで、相手を尊重しながら、表情や態度、言葉で、「感謝」や「敬意」を表現できるようになる。異文化コミュニケーションの重要性を習得、多様な考え方、生き方に触れ自己啓発に努めることができる。

## 実務経験有無 実務経験内容

有 様々な式典、祭典における司会業務に従事。

## 時間外に必要な学修

講義ノート等を中心に予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1-2	ビジネスシーンのマナー①	ビジネスマナーの必要性 名刺の扱い方 来客対応
3-4	ビジネスシーンのマナー②	電話対応/トラブル対応 ビジネス文書
5-6	食事のマナー①	食事作法の基本/和食のマナー 和室の作法
7-8	食事のマナー②	西洋料理のマナー 中国料理、各国料理のマナー/お酒のマナー
9-10	冠婚葬祭①	冠婚葬祭とは/日本の主な通過儀礼 結婚の変遷
11-12	冠婚葬祭②	葬のしきたり / 仏式の葬儀 / 神式の葬儀 / キリスト教式の葬儀 / 葬儀・告別式でのマナー / 法要のしきたり
13-14	冠婚葬祭③	祭りのしきたり / 1月の行事 / 2～3月 / 4～6月 7～10月 / 11～12月の行事
15	検定対策	過去問 / 回答と解説 欠点追求

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本マナー・プロトコール協会テキスト	演習・実践 期末テスト	30.0% 70.0%	・小テスト ・ディスカッション ・グループワーク ・ロールプレイ(実演)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル実務Ⅱ (セレモニープロデュース)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	実技
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	出口 陽子

## 授業の概要

実際の新郎新婦様の結婚式を学生でプロデュース・運営する。プランナー業務からキャプテン・アテンド・司会・音響・ムービー作成・アイテム作成を行い、現場のリアルを知り習得する

## 授業終了時の到達目標

- ・結婚式に携わることの責任、重要さを学ぶことが出来る。
- ・段取りから準備まで計画的に進めるための力を身につけることが出来る。
- ・イメージを伝えるための表現力や提案力を身につける

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有 専門式場にてプランナー3年 / 仕入れ・発注担当2年 / サービス4年  
ブライダルMC23年(ゲストハウス)

## 時間外に必要な学修

授業の前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1-4	新郎新婦へヒアリング	アンケートを元にヒヤリングし、新郎新婦の思い描く結婚式をプレゼン
5-8	テーマ・コンセプト提案	グループでコンセプトをご提案
9-12	演出・進行①	挙式・披露宴の演出・進行をご提案
13-16	演出・進行②	挙式・披露宴の演出・進行を組み立てる
17-20	各ポジション練習	ポジションの役割・動きを理解し習得する
21-24	アイテム作成	プロフィールBOOK・席札・ムービー作成
25-35	リアルウェディング挙式練	決定した進行をもとに挙式練習し当日のイメージつけていく
36-56	リアルウェディング披露宴	決定した進行をもとに挙式練習し当日のイメージつけていく
57	リハーサル	当日と同じ時間・同じ会場で本番同様のリハーサルを行う
58-59	リアルウェディング修正・総仕上げ	リハーサルでの変更・修正を行い。本番へと仕上げる
60	リアルウェディング本番	新郎新婦をお迎えし、お仕度開始、ゲストへ料理提供御引上げまで無事に施行する

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

KBGプリント

実習・実技  
課題

70.0%  
30.0%

授業の前後の予習・  
復習は必ず行い、効  
率的な科目内容の学  
修に努めること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル実務Ⅱ (セレモニープロデュース)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	実技
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位 (90単位時間)	必須	出口 陽子

## 授業の概要

実際の新郎新婦様の結婚式を学生でプロデュース・運営する。プランナー業務からキャプテン・アテンド・司会・音響・ムービー作成・アイテム作成を行い、現場のリアルを知り習得する

## 授業終了時の到達目標

- ・結婚式に携わることの責任、重要さを学ぶことが出来る。
- ・段取りから準備まで計画的に進めるための力を身につけることが出来る。
- ・イメージを伝えるための表現力や提案力を身につける

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有 専門式場にてプランナー3年 / 仕入れ・発注担当2年 / サービス4年  
ブライダルMC23年(ゲストハウス)

## 時間外に必要な学修

授業の前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1-2	新郎新婦へヒアリング	アンケートを元にヒアリングし、新郎新婦の思い描く結婚式をプレゼン
3-4	テーマ・コンセプト提案	グループでコンセプトをご提案
5-6	演出・進行①	挙式・披露宴の演出・進行をご提案
7-10	演出・進行②	挙式・披露宴の演出・進行を組み立てる
11-14	各ポジション練習	ポジションの役割・動きを理解し習得する
15-18	アイテム作成	プロフィールBOOK・席札・ムービー作成
19-22	リアルウェディング挙式練	決定した進行をもとに挙式練習し当日のイメージつけていく
23-40	リアルウェディング披露宴	決定した進行をもとに挙式練習し当日のイメージつけていく
41	リハーサル	当日と同じ時間・同じ会場で本番同様のリハーサルを行う
42-44	リアルウェディング修正・総仕上げ	リハーサルでの変更・修正を行い。本番へと仕上げる
45	リアルウェディング本番	新郎新婦をお迎えし、お仕度開始、ゲストへ料理提供御引上げまで無事に施行する

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

KBGプリント

実習・実技  
課題

70.0%  
30.0%

授業の前後の予習・復習は必ず行い、効率的な科目内容の学修に努めること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル・ブライダル概論Ⅱ (フォトウェディング)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位 (60単位時間)	必須	山本 斉

## 授業の概要

フォト婚が流行している現代のブライダル業界にて活躍できるよう、写真撮影のテクニックやムービー作成の基礎を学びます

## 授業終了時の到達目標

・写真に関する基礎知識を身に付け、フォトWeddingに対応できるよう、ポージングやテクニックを習得する  
・インスタグラムや動画配信のための知識・技術を学び、実際にアップする

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

有	スタジオカメラマンをはじめ、ブライダルフォトにおける前撮りや当日スナップ撮影他フォトグラファーとしての業務は多岐にわたる。カメラマンとして20年、業界に従事。
---	---

## 時間外に必要な学修

講義ノート等を中心に予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	授業の概要と目的、目標 業界の現状	授業の概要と目的、目標を伝える。業界の現状を伝える
2	撮影機材について (写真・動画)	撮影に使用する機材や道具を説明 (実物も用意)
3	写真の歴史	業界の歴史を知りトレンドをおさえる
4	専門知識、カメラの機能 (写真・動画)	業界の専門的な知識や、撮影時に必要な知識伝える
5	撮影方法・技術 (スナップ)	スナップ写真におけるカメラマンの立ち位置や声掛け
6	撮影方法・技術 (スナップ)	スナップ写真におけるカメラマンの立ち位置や声掛け
7	スタンダードな写真	ブライダルシーンにおける写真撮影方法
8	スタンダードな写真	ブライダルシーンにおける写真撮影方法
9	スタンダードな写真	ブライダルシーンにおける写真撮影方法
10	撮影指示書	撮影指示書とは
11	撮影指示書	ギフトウェディングでの撮影指示書作成
12	撮影指示書	ギフトウェディングでの撮影指示書作成
13	シーンごとの撮影	お仕度UP～ファーストミート・挙式
14	シーンごとの撮影	アフターパーティ・全員集合写真
15	シーンごとの撮影	迎賓からおひらきまで
16	型物撮影	新郎新婦の見せ方 影 トレンドポージング

17	型物撮影	新郎新婦の見せ方 影 トレンドポージング		
18	和装撮影	着付けのお直し ポージング アイテム		
19	和装撮影	着付けのお直し ポージング アイテム		
20	プロフィールムービー作成	自身のプロフィールムービーを作成する 素材あつめ		
21	プロフィールムービー作成	素材ごとのコメント		
22	プロフィールムービー作成	配置 BGM コンセプト		
23	プロフィールムービー作成	プロフィールムービー仕上げ		
24	プロフィールムービー作成	プロフィールムービー仕上げ発表		
25	テーマフォトWeddingにむけて	グループに分かれ、テーマを決め撮影コンセプトを固める		
26	テーマフォトWedding	ポージング、写真構成を決める		
27	テーマフォトWedding	テーマに沿った。衣装・ヘアメイクを決め、練習する		
28	テーマフォトWedding	ロケーション撮影を行い、写真をセレクトしプレゼンテーションを作成		
29	テーマフォトWedding	プレゼンテーションの仕上げ		
30	テーマフォトWedding発表	各グループで発表し、他グループの良さや違いを探る		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
KBGプリント		期末試験 技術確認	50.0% 50.0%	各回で配布したプリント・およびノート を復習すること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス実務実習Ⅱ (サービス実務実習Ⅲ)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	本多 心愛

## 授業の概要

1年次に「接客やサービスオペレーションでの習得した知識・技術」をブラッシュアップする。  
また、新たな施設・部署で経験を積み、知識・技術を習得するとともにホテルを幅広く知る。  
夏季実習(約40日間)ホテル実習ではプロのホテルマンの姿勢、自己管理、生活習慣を学ぶ。

## 授業終了時の到達目標

- ・習熟度の高い身だしなみ、立ち居振る舞いを習得できる
- ・幅広くホテルの接客業務、オペレーション業務の知識・技術をブラッシュアップできる
- ・ホテル従事者の姿勢・生活習慣・自己管理が習得できる

実務経験有無	実務経験内容
有	結婚式場にてウェディングプランナー・サービスキャプテンを務める(3年)

## 時間外に必要な学修

目標を設定し、到達したか評価表を使って自己で振り返りを行う。

回	テーマ	学修内容
1	企業内実習における目標の再確認	前期の振り返りから、目標・目的を再確認する。
2-30	1年次に習得した挨拶やみだしなみなど基本的な接客マナーを確認	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
31-60	接客およびサービス・オペレーションの知識・技術のブラッシュアップ	<p>「受付業務」：出迎え・見送り・席への案内  「料理・飲料提供」：料飲メニュー説明と料飲提供  「施設・設備の把握」：お客様に正確な案内  「ウォッチ」：お客様の様子を見て、望んでいるものを察知し、直ぐに行動に移す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな場面での接客・サービススキルの習熟度を高める。</li> </ul>

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
動画(KBGオリジナル) ・基本的なマナー習慣 ・基本的なテクニック(接客業務・サービス) ルーブリック式企業内実習評価表	期末試験 実技試験	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス実務実習Ⅱ (サービス実務実習Ⅲ)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	本多 心愛

## 授業の概要

1年次に「接客やサービスオペレーションでの習得した知識・技術」をブラッシュアップする。  
また、新たな施設・部署で経験を積み、知識・技術を習得するとともにホテルを幅広く知る。  
夏季実習(約40日間)ホテル実習ではプロのホテルマンの姿勢、自己管理、生活習慣を学ぶ。

## 授業終了時の到達目標

- ・習熟度の高い身だしなみ、立ち居振る舞いを習得できる
- ・幅広くホテルの接客業務、オペレーション業務の知識・技術をブラッシュアップできる
- ・ホテル従事者の姿勢・生活習慣・自己管理が習得できる

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有 結婚式場にてウェディングプランナー・サービスキャプテンを務める(3年)

## 時間外に必要な学修

目標を設定し、到達したか評価表を使って自己で振り返りを行う。

回	テーマ	学修内容
1	企業内実習における目標の再確認	前期の振り返りから、目標・目的を再確認する。
2-25	前期に習得した挨拶やみだしなみなど基本的な接客マナーを確認	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
26-45	接客およびサービス・オペレーションの知識・技術のブラッシュアップ	「受付業務」：出迎え・見送り・席への案内 「料理・飲料提供」：料飲メニュー説明と料飲提供 「施設・設備の把握」：お客様に正確な案内 「ウォッチ」：お客様の様子を見て、望んでいるものを察知し、直ぐに行動に移す ・いろいろな場面での接客・サービススキルの習熟度を高める。
45-55	金沢市内または富山市内のホテル・レストランにおいて実習	金沢市内・富山市内のホテル・レストランにおいて実習。約40日間(実質30日稼働)シフトインすることにより、新たな知識・技術を習得する。 サービスマンとしての心構え、生活リズム、自己管理等を体験する
56-60	総合演習	自己評価及び、企業内実習先担当者からの他者評価をもとに振り返る。また、企業内実習先担当者からのフィードバックを行い、今後の目標を設定

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

動画(KBGオリジナル)  
・基本的なマナー習慣  
・基本的なテクニック(接客業務・サービス)  
ルーブリック式企業内実習評価表

実習日誌  
実習評価表

50.0%  
50.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス実務 (パソコンスキル応用)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	飯田 茂美

## 授業の概要

アプリケーションソフトを効果的に行うことができ、実務で使用するデータやドキュメントの作成、加工等が効率的にできる技術を体得する。プレゼンテーション資料作成能力を体得する。

## 授業終了時の到達目標

- ・プランニングシートが作成できる、プレゼンテーション作成技術を身に付ける。
- ・進行表が作成できる、Excelの応用的な使い方を習得する。
- ・多様なサイズで文書を作成できる、Wordの応用的な使い方を習得する。

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

無	
---	--

## 時間外に必要な学修

タイピング練習、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	プレゼンテーション作成技法解説	プレゼン問題集2級 複雑な表・グラフを活用したプレゼンテーション資料を作成
2	プレゼンテーション作成演習	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	プレゼンテーション作成演習	プレゼン問題集2級 様々なテーマで画像・図形・表・グラフ・アニメーションを活用したプレゼンテーション資料を作成
4	プレゼンテーション作成演習	プレゼン問題集2級 様々なテーマで画像・表・グラフ・アニメーションを活用したプレゼンテーション資料を作成。プレゼンテーションソフトを理解
5	プレゼンテーション作成演習	プレゼン問題集2級 様々なテーマで画像・表・グラフ・アニメーションを活用したプレゼンテーション資料を作成。プレゼンテーションソフトを活用。
6	プレゼンテーション作成演習 課題1	オリジナルプレゼンテーションを作成
7	プレゼンテーション作成演習 課題1	オリジナルプレゼンテーションを作成
8	表計算演習 Excelの便利な機能	セルの参照機能を利用して、見積書を作成
9	表計算演習 Excelの便利な機能	セルの条件付き書式を利用して、視覚的にとらえる表を作成(担当者に同じ色をつけるなどできる)
10	表計算演習 Excelの便利な機能	セルの結合や罫線を利用し、複雑な書式の表を作成
11	表計算演習 課題2	進行表1を作成
12	表計算演習 課題3	進行表2を作成
13	ワープロ演習 課題4	表を利用してチケットなどを作成
14	ワープロ演習 課題5	ラベルを利用して名刺などを作成
15	ワープロ演習 課題6	往復はがきサイズで各種ご案内を作成

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

・プレゼンテーション作成 模擬問題集 1・2級編(日本情報処理検定協会) ・30時間でマスター Office2019(実教出版株	期末試験 課題提出物	70.0% 30.0%	問題集を利用して復習すること
---	---------------	----------------	----------------

株式会社) など 1 年次に使用したテキスト、問題  
集

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス実務 (パソコンスキル応用)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	飯田 茂美

## 授業の概要

アプリケーションソフトを活用し、効果的に行うことができ、実務で使用するデータやドキュメントの作成、加工等が効率的にできる技術を体得。プレゼンテーション資料作成能力を体得。

## 授業終了時の到達目標

- ・プランニングシートが作成できる、プレゼンテーション作成技術を身に付ける。
- ・進行表が作成できる、Excelの応用的な使い方を習得する。
- ・多様なサイズで文書を作成できる、Wordの応用的な使い方を習得する。

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

無	
---	--

## 時間外に必要な学修

タイピング練習、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	制作課題	写真を取り込み、簡単な動画を作成
2	制作課題	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	制作課題	各自素材を集めパソコンに取り込み、動画を作成
4	制作課題	各自素材を集めパソコンに取り込み、動画を作成
5	制作課題	各自素材を集めパソコンに取り込み、動画を作成
6	ビジネス実践 ケーススタディ1 プロジェクト発足を通知する	体制図をSmartArtを使用して作成。SmartArtを図としてコピーしプロジェクト発足通知文書に貼り付ける
7	ビジネス実践 ケーススタディ2 会議の開催を連絡する	メモをもとに会議に関する資料を作成
8	ビジネス実践 ケーススタディ3 行動指針を全従業員に告知する	メモをもとに社内文書を作成する。SmartArt、タブ機能、を使用し、見栄えのするポスターを作成
9	ビジネス実践 ケーススタディ4 セミナー開催をお客様に案内する	データをもとに開催内容の一覧表を作成する。一覧表と一緒に送付する案内文書を作成
10	ビジネス実践 ケーススタディ5 受講票を送付や宛名ラベル印刷をする	データをもとに一覧表を作成。過去の受講票を参考に今回の受講票を作成、一覧表のデータを差し込み印刷。宛名ラベルを作成
11	ビジネス実践 ケーススタディ6・7 集計・分析	データを集計、分析し、グラフ利用した報告書を作成する。また、日付曜日などの表示形式も工夫する
12	ビジネス実践 ケーススタディ8 集計・分析	データを集計、分析し、複合グラフを利用した報告書を作成する。また、数値の表示形式も工夫する
13	ビジネス実践 ケーススタディ9 集計・分析	関数の組合せなどをして一覧表、集計表を作成
14	集計・分析	ピボットテーブルを使用し、集計・分析を行う。
15	ビジネス実践 ケーススタディ10 売上見込み・売上実績を集計する	売上見込みの提出を依頼するレポートを作成。売上見込みデータを一覧表にする。売上実績を集計して売上実績表を作成。

## 教科書・教材

・プレゼンテーション作成 模擬問題集  
1・2級編 (日本情報処理検定協会)  
・30時間でマスター Office2019 (実教出版株

## 成績評価の方法

期末試験  
課題提出物

## 評価率

70.0%  
30.0%

## 授業時間外の学修

問題集を利用して復習すること

株式会社) など 1年次に使用したテキスト、問題集	
---------------------------	--

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン (キャリアデザインⅡ)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	出口 陽子

## 授業の概要

企業分析・自己分析の徹底。志望企業を想定した面接試験の反復練習を行い、自らの考えを自信を持ってしっかり発言出来るよう習得する。

## 授業終了時の到達目標

- ・就職活動において適切に対応できる素養が身につく。
- ・志望企業より内定獲得を目指す。・日頃から社会人意識を高め、成長を図る。

実務経験有無	実務経験内容
有	専門式場にて プランナー3年 / 仕入れ・発注担当2年 / サービス4年 ブライダルMC23年(ゲストハウス)

## 時間外に必要な学修

ワークブック・プリントを使用した予習・復習の徹底。

回	テーマ	学修内容
1	企業研究	志望する企業の事業内容や選考試験などを知る。また、同業他社についても同様に調べ、研究する。
2	企業研究	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	企業研究	先輩方の実績を確認し、対策する
4	企業研究	就職活動進捗シート作成
5	自己分析	自身を客観的に分析し強味・自己アピール、弱みを強みに変える表現を探る
6	自己分析	自身を客観的に分析し強味・自己アピール、弱みを強みに変える表現を探る
7	面接練習 (個人面接・オンライン面接)	ロールプレイング形式で面接練習を行う。オンライン対策もしっかり修得する。
8	面接練習 (個人面接・オンライン面接)	ロールプレイング形式で面接練習を行う。オンライン対策もしっかり修得する。
9	面接練習 (個人面接・オンライン面接)	ロールプレイング形式で面接練習を行う。オンライン対策もしっかり修得する。
10	面接練習 (グループ面接)	グループ面接におけるのアピールの仕方を習得する
11	面接練習 (グループ面接)	グループ面接におけるの、見せ方・聞き方
12	一問一答・時事ネタ	質問事例に対し企業に合わせた答えを考える
13	面接練習 (個人面接・オンライン面接)	逆質問を用意する
14	グループディスカッション	4～5名のチームを編成し、テーマに基づきディスカッションを行う
15	グループディスカッション	4～5名のチームを編成し、テーマに基づきディスカッションを行う

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
面接対策&ビジネスマナー(ウイネット)	課題 実技意欲(提出物含む)	50.0% 50.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン (ビジネスコミュニケーション)		ホテル・ブライダル総合学科 /2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位 (30単位時間)	必須	杉原 美佐子

## 授業の概要

ビジネスマナーや社会常識、社会組織と人間関係の在り方、仕事における責任と役割を理解し、職場で通用する人材の育成を目的とする。態度・振る舞い・言葉遣い、話し方が社会一般の誰からも「感じがよい」と思われる接客スキルを習得する。ビジネスマナーを中心にオフィスワーク演習やロールプレイングを通じて実践力を養う。

## 授業終了時の到達目標

到達目標は、言葉遣い、来客対応、電話対応、ビジネス文書などが、即戦力レベルになることである。  
 ・指示受けと報告ができる ・来客対応・来客受付ができる ・電話対応ができる ・ビジネス文書がかける (社内文・社交文)

実務経験有無	実務経験内容
無	

## 時間外に必要な学修

講義ノート等を中心に予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1	授業ガイダンス	・学習の計画を知る。 ・マナーの重要性を理解する。
2	接客マナー・基本行動	・基本動作 (あいさつ・立つ・座る・入室の仕方) の習得
3	接客マナー・言葉遣い (基本)	・敬語の種類 ・謙譲語・尊敬語・丁寧語
4	接客マナー・言葉遣い (接客用語)	・接客用語の理解
5	接客マナー・言葉遣い (基礎演習)	・謙譲語・尊敬語・丁寧語の使い分け ・接客用語の使い分け
6	接客マナー (敬語)	・間違いやすい敬語
7	接客マナー・ (人間関係と話し方)	・報告の仕方 ・説明の仕方 ・説得の仕方 ・注意忠告の仕方 ・苦情対応 ・断り方
8	接客マナー・ (敬語演習 選択問題)	・秘書検定問題
9	接客マナー・ (敬語演習 記述問題)	・秘書検定問題
10	テキストLesson3 言葉遣い (基礎問題)	・基礎演習 (尊敬語・謙譲語・丁寧語)
11	テキストLesson3 言葉遣い (応用問題)	・応用演習 (ビジネスの場での言葉遣い)
12	マナー・接客 (電話基礎)	・電話対応の心得 ・取り次ぎの要領
13	マナー・接客 (電話演習 選択問題)	・秘書検定問題
14	マナー・接客 (電話演習 記述問題)	・秘書検定問題
15	テキストLesson4 電話対応 (基本)	・電話対応の振り返り ・声の出し方 ・話し方

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
テキスト: ビジネスマナー基礎実習 (早稲田教育出版)	学期末試験 授業への積極的関与 (課題提出を含む)	70.0% 30.0%	各回で配布した プリント・および ノートを復習 すること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インバウンド・MICE概論		ホテル・ブライダル総合学科 /ホテル専攻2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	宮本 貴正

## 授業の概要

訪日外国人数は年々増加の一途をたどっています。地方においてもインバウンド客が多くなり、様々な場面で対応が必要になってきています。1年次に学んだインバウンドについてさらに知識を深めて、これからの観光業界に必要な人材の育成を目指していきます。

## 授業終了時の到達目標

観光従事者として訪日客へのサービスの課題や改善点を考えることができるようになる。日本や日本の地域について理解し訪日客に様々な内容を説明できるようになる。インバウンド産業全体の意義や訪日客の増加が私たちの近未来に与える内容を説明できるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	大手旅行会社にて海外添乗業務。国際会議スタッフ経験。現在はインバウンドを主に扱う旅行会社を立ち上げ役員として勤務。

## 時間外に必要な学修

授業毎の復習で理解を深めてください。また、インバウンドに関する様々なニュース、トピックスに関心を持ち、絶えず情報収集に努めてください。理解度確認のための課題、レポート提出も求めます。

回	テーマ	学修内容
1	1年次の復習 日本、地域の理解	訪日客に求められる知識やサービスとは何かを理解する。
2	1年次の復習 日本、地域の理解	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	日本人の暮らし 1	年中行事：年中行事の理解を深める。
4	日本人の暮らし 1	年中行事：年中行事の理解を深める。
5	日本人の暮らし 2	日本人の暮らし：冠婚葬祭, 住居、仕事について学ぶ。
6	日本人の暮らし 2	日本人の暮らし：冠婚葬祭, 住居、仕事について学ぶ。
7	日本文化 1	日本の文化について学ぶ：能、歌舞伎、日本画、浮世絵
8	日本文化 1	日本の文化について学ぶ：能、歌舞伎、日本画、浮世絵
9	日本文化 2	日本の文化について学ぶ：武道、華道、茶道、工芸品
10	日本文化 2	日本の文化について学ぶ：武道、華道、茶道、工芸品
11	観光素材と観光資源	観光資源を分類して知識を深める。
12	観光素材と観光資源	観光資源を分類して知識を深める。
13	日本の観光資源 2	日本の自然景勝地、温泉
14	日本の観光資源 2	日本の自然景勝地、温泉
15	日本の観光資源 3	日本の建造物 城、社寺、体験型観光

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
Power Pointでの授業をします。 授業により各自PCを使用します。 KBGプリント	期末テスト 小テスト	70.0% 30.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インバウンド・MICE概論		ホテル・ブライダル総合学科 /ホテル専攻2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	宮本 貴正

## 授業の概要

訪日外国人数は年々増加の一途をたどっています。地方においてもインバウンド客が多くなり、様々な場面で対応が必要になってきています。1年次に学んだインバウンドについてさらに知識を深めて、これからの観光業界に必要な人材の育成を目指していきます。

## 授業終了時の到達目標

観光従事者として訪日客へのサービスの課題や改善点を考えることができるようになる。日本や日本の地域について理解し訪日客に様々な内容を説明できるようになる。インバウンド産業全体の意義や訪日客の増加が私たちの近未来に与える内容を説明できるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	大手旅行会社にて海外添乗業務。国際会議スタッフ経験。現在はインバウンドを主に扱う旅行会社を立ち上げ役員として勤務。

## 時間外に必要な学修

授業毎の復習で理解を深めてください。また、インバウンドに関する様々なニュース、トピックスに関心を持ち、絶えず情報収集に努めてください。理解度確認のための課題、レポート提出も求めます。

回	テーマ	学修内容
1	インバウンドの英語実務1	英語を使つての実務を学ぶ 宿泊、予約
2	インバウンドの英語実務1	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	インバウンドの英語実務2	英語を使つての実務を学ぶ 観光地、交通、食事など
4	インバウンドの英語実務2	英語を使つての実務を学ぶ 観光地、交通、食事など
5	テーマ別インバウンド調査	テーマを決めインバウンドの調査をする。
6	テーマ別インバウンド調査	テーマを決めインバウンドの調査をする。
7	テーマ別インバウンド調査発表	各自発表を行う。
8	テーマ別インバウンド調査発表	各自発表を行う。
9	インバウンドの最新情報①	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
10	インバウンドの最新情報①	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
11	インバウンドの最新情報②	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
12	インバウンドの最新情報②	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
13	インバウンドの最新情報③	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
14	インバウンドの最新情報③	インバウンドの状況、新たなツーリズムについて学ぶ。
15	1年のまとめ	これからのインバウンドを考え・自分の意見を述べる

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
Power Pointでの授業をします。 授業により各自PCを使用します。 KBGプリント	期末テスト 小テスト	70.0% 30.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実践英会話		ホテル・ブライダル総合学科 /ホテル専攻2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位 (60単位時間)	必須	Meg Knoke

## 授業の概要

英会話に必要な最低限の文法力を習得させる

## 授業終了時の到達目標

学んだ文法を生かして、自身で応用させ、自らの言葉に変えて、発信できるようにする

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

無	
---	--

## 時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

回	テーマ	学修内容
1-2	英語演習問題①	名詞 冠詞 代名詞 基本時制 進行形 完了形
3-4	英語演習問題②	助動詞 受動態 不定詞 分詞 動名詞 形容詞
5-6	英語演習問題③	副詞 比較級 前置詞 関係詞 仮定法
7-8	スピーチ①	文の構成 スピーチ作成 発表
9-10	スピーチ②	文の構成 スピーチ作成 発表
11-12	過去形の復習	be動詞、一般動詞の過去形を復習する
13-14	thereの構文	there を使った構文 現在形、過去形を理解し、作文できるようにする
15-16	howを使う疑問文	how much, how often, how long等の疑問文を理解し、使い分けられるようにする
17-18	形容詞と副詞	形容詞と副詞の違いを理解する
19-20	比較級、最上級	比較級、最上級を理解をし、英作文できるようにする
21-22	付加疑問文	don't you? Is't it?など 仕組みを理解し、英作文できるようにする
23-24	不定詞	名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法 を理解し、英作文できるようにする
25-26	命令文 +and, or	仮定法とは 仮定法過去 仮定法過去完了
27-28	使役動詞 関係代名詞	make, let, have, getなど使役動詞を理解し、英作文できるようにする。関係代名詞 whatを理解し、英作文できるようにする
29	前期の復習	前期の弱点補助 理解度 応用力を高める
30	期末テスト対策	テスト傾向 評価 インタビュー練習

教科書・教材

成績評価の方法

評価率

授業時間外の学修

旺文社 演習ドリル 英文法 桐原書店 総合

期末テスト

100.0%

英語  
英語

EMPOWER Mastery いいづな書店 総合英

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実践英会話		ホテル・ブライダル総合学科 /ホテル専攻2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位 (30単位時間)	必須	Meg Knoke

## 授業の概要

Practice speaking english. Listening to english. Improve basic grammar and expand vocabulary.

## 授業終了時の到達目標

Improved english speaking ability and listening comprehension.

実務経験有無	実務経験内容
無	

## 時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

回	テーマ	学修内容
1	intro of text and basic classroom phrases	working with a partner. Asking for help. Classroom language.
2	My interests (応用)	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
3	asking for repetition (応用)	unit 1B
4	Sports and exercise (応用)	unit 1C. Simple present
5	Free time (応用)	unit 1D. Talking about people`s hobbies
6	Unit 1 review (応用)	review and application of the language from unit 1
7	Describing personality (応用)	unit 2A.
8	when you`re not sure (応用)	unit 2B
9	Describing appearance (応用)	unit 2C
10	People`s profiles (応用)	unit 2D
11	Unit 2 review (応用)	review and application of language from unit 2
12	talking about the weather (応用)	unit 3A. Adverbs of intensity
13	opinions (応用)	unit 3B. Asking for and giving opinions
14	I`d like to... (応用)	unit 3C. Would like + infinitive
15	Where would you like to go? (応用)	unit 3D

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
Sutudents book 2	期末テスト	100.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コスチュームアドバイザー (着付け)		ホテル・ブライダル総合学科 /ブライダル専攻2年	2026/後期	実技
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	中村 理絵

## 授業の概要

ブライダル業界での着付けは新郎新婦の着付けに留まらず、参列者への着付けも必要な技術と言える。自装他装の技術のみならず、着物の名称や着物の扱い方、所作やマナーについてもテキストや実習を交え体得する。

## 授業終了時の到達目標

- ・着付けに関する用語、名称を覚え理解する。
- ・黒留袖の他装が出来るようになる。
- ・花嫁・紋付き袴の他装手順を理解する。
- ・着付けを通しておもてなしの心をもてるようになる。

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有  
美容師として美容院にて3年勤務。ブライダルヘアメイクを専門として6年間活動。  
現在はイメージコンサルタントとしても勤務。

## 時間外に必要な学修

各講義で実施したことを復習すること。

回	テーマ	学修内容
1-3	和装着付けについて	道具配布、着物を取り扱う際の注意点、着付師としての心構えなどを理解する。必要な道具の名称を理解する。
4-6	和装着付けに関する道具の取り扱いと着物、帯、袴の畳方	訪日外国人の増加傾向の下で2019年には3000万人を超えた状況、および日本独特の宿泊形態の変移、について学修する
7-8	補正・襦袢の重要性	体系や着装する年齢よっての補正の仕方の違いや襦袢を美しく着用する重要性を相モデル実習にて理解する。
9	着物の衿綴じ 帯の種類について	名称と取扱いを理解し、裁縫できるようになる。 名古屋帯、袋帯など種類と用途を理解する。
10-12	黒留の他装 (補正から着物まで)	黒留袖の他装。補正、比翼付き着付けについて理解する。
13-15	黒留の他装 (着物から二重太鼓まで)	黒留袖の他装。二重太鼓について理解する。
16	婚礼花嫁着付け(補正と襦袢)	花嫁着付けの補正に必要な下準備と、補正の仕方を理解し、美しい襦袢の着付け方を理解する。
17	婚礼花嫁着付け(掛下) 紋付き袴	花嫁着付けの掛下の着付けを理解し体得する。羽織袴の補正・着付けを実習にて理解する。
18	婚礼花嫁着付け(帯と打掛) 紋付き袴	花嫁着付けの帯の結び方を理解し体得する。羽織袴の補正・着付けを実習にて理解する。
19	和装メイク	和装用メイクについて理解する。水化粧など紅の差し方、笹眉の書き方など洋装との違いを理解する。
20	和装向けヘアセット	和装ヘアセットについて理解。すき毛の使い方や和装でのヘアバランスを理解できるようになる。
21-23	和婚特別講義・準備	ヘアメイクを入れた花嫁・羽織袴・黒留袖の着付けを時間配分を考慮し完成できるようになる。
23-26	フォトコンテスト * SNSにて投票予定	チーム別にフォトをテーマにヘアメイクから着付け、写真構成など考慮し写真内で表現する
27-28	フォトコンテスト * SNSにて投票予定	プロのカメラマンによるポージングや撮影方法の特別講義
29-30	フォトコンテスト * SNSにて投票予定	チーム別発表。コミュニケーション力を生かし相手に提案する力をつける。

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

プリント(KBG出版監修)

筆記試験  
実技試験

50.0%  
50.0%



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コスチュームアドバイザー (検定)		ホテル・ブライダル総合学科 /ブライダル専攻2年	2026/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	谷内 友梨香

## 授業の概要

婚礼衣装業務に関わるプロとして知っておきたい洋装、和装の専門知識、貸衣装業に携わるために必要な実践的技術に加え、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・花の基礎知識までを網羅する。

## 授業終了時の到達目標

- ・貸衣装業界の現状を把握し、即戦力となる為の基礎力アップを目指す。
- ・分からない、出来ないを減らし、出来る、やった事があるという経験からくる自信を身につける。

実務経験有無	実務経験内容
有	・結婚式場にてドレスコーディネーターとして勤める(5年)

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1-2	一章「婚礼衣装業界とは」	パートナー企業の理解する。婚礼施設との提携、契約について。衣装に関わる職種についての理解する。衣装の入手方法学ぶ。
3-5	二章「新婦の衣裳」(洋装)	ウェディングドレスの歴史・時代のファッショントレンドを理解。素材と装飾ドレスサイズ、ドレスのディテールを理解し資料作成。生地を理解。
6-7	第三「新郎の衣裳」(洋装・和装)	洋装、和装ともに普段馴染みが薄い、新郎の衣裳の小物を専門的に学習する。
8-9	第四「列席者の衣裳」	両親、媒酌人夫妻の衣裳、列席者の衣裳を見て、触れて、種類や小物を判別できるよう修得。
10-12	第五「ドレスコーディネーターの業務」	ドレスのデザインディテール。素材と装飾ドレスサイズ。ドレスのディテールを理解し、資料作成。生地を理解する。
13-15	第六「貸衣装店におけるドレスコーディネーターの実務」	受付対応・カウンセリング・衣裳選択、フィティング技術を学内ドレスを使用し学修する。接客時のアテンドテクニックを修得。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本のドレスコーディネーター育成プログラム (ウェディングスビューティフルジャパン)	期末試験	100%	授業の前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コスチュームアドバイザー (検定)		ホテル・ブライダル総合学科 /ブライダル専攻2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	谷内 友梨香

## 授業の概要

婚礼衣装業務に関わるプロとして知っておきたい洋装、和装の専門知識、貸衣装業に携わるために必要な実践的技術に加え、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・花の基礎知識までを網羅する。

## 授業終了時の到達目標

- ・貸衣装業界の現状を把握し、即戦力となる為の基礎力アップを目指す。
- ・分からない、出来ないを減らし、出来る、やった事があるという経験からくる自信を身につける。

実務経験有無	実務経験内容
有	・結婚式場にてドレスコーディネーターとして勤める(5年)

## 時間外に必要な学修

授業前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
16-17	第六「貸衣装店におけるドレスコーディネーターの実務」	仕入れ・営業活動(集客営業・婚礼施設との提携)
18-19	第七章「婚礼美容」	①婚礼美容②婚礼美容の種類③ブライダルヘアメイクアーティストの業務・必要なスキル
20-21	第八章「ブライダルフラワー」	トータルコーディネート、お客様へのアドバイス等
22	新規カウンセリング	新規お客様へのカウンセリング対応
23-25	新規接客ロールプレイング	グループに分かれロールプレイング
26	検定対策	2025年過去問を解き、全体の9割りを解答できるよう学修
27	検定対策	2024年過去問を解き、全体の12割りを解答できるよう学修
28	検定対策	2023年過去問を解き、全体の13割りを解答できるよう学修
29	検定対策	2022年過去問を解き、全体の14割りを解答できるよう学修
30	検定対策	間違いやすい問題の傾向・対策

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本のドレスコーディネーター育成プログラム (ウエディングスビューティフルジャパン)	期末試験	100%	授業の前後の学修は必ず行い、効率的に科目内容の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
カラーコーディネート		ホテル・ブライダル総合学科 /ブライダル専攻2年	2026/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	中村 理絵

## 授業の概要

カラーとイメージの具体的な活用を学ぶ

## 授業終了時の到達目標

色彩学の基本、イメージの捉え方と具現化の仕方を学び配色や実習などのワークを通じて、会場コーディネートができるようになる。ドレス・フラワー、ヘアメイクとのリンクしたコーディネートの知識を習得。

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有

美容師として美容院にて3年勤務。ブライダルヘアメイクを専門として6年間活動。現在はイメージコンサルタントとしても勤務。

## 時間外に必要な学修

時間内に終了できなかった課題など、必要に応じて対応が必要

回	テーマ	学修内容
1-2	色彩学の基本①	色彩学の基本を学ぶ (三属性・トーンなど色彩学の概念について)
3-4	色彩学の基本②	色彩心理の基本を学ぶ(色の持つ特徴と演出効果など)
5-6	配色の基本①	色の組み合わせ、配色の基本的な考え方
7-8	配色の基本②	シーンに合わせた配色の考え方
9-10	色とイメージについて	色の持つ特徴からイメージを組み立てる
11-12	イメージの考え方と作り方①	イメージスケールの考え方を学ぶ
13-14	イメージの考え方と作り方②	テーブルコーディネートの基本を学び実践への応用に役立てる
15	最終まとめ	課題発表(授業の進行と状況に応じて最終調整)

## 教科書・教材

## 成績評価の方法

## 評価率

## 授業時間外の学修

・実習用教材、テキスト  
・実習用コーディネートアイテムなど

課題  
期末テスト

50.0%  
50.0%

